



石川臨床検査技師長（前列中央）とスタッフのみなさん

部 署 紹 介

臨床検査科

当検査科は臨床検査技師18名、検査補助者1名で業務を行っています。主な業務は大きく分けて、患者さんから採取された血液、尿、喀痰などを検査する検体検査と、患者さんを直接検査する生理検査の2つに分けられます。

検体検査は、さらに6部門に分けられます。

① 生化学・免疫学的検査…血液中に

含まれる酵素や脂質など各臓器の状態や免疫機能を検査します

② 血液検査…血液中の赤血球や白血球などの数や貧血の程度、炎症の程度を調べます

③ 一般検査…尿や便中の赤血球・糖や細菌の程度を検査します

④ 輸血検査…安全な輸血を行うために血液型や交差適合試験を行います

⑤ 細菌検査…血液や喀痰から病気の原因菌を見つけ、その菌にどの薬が効くかどうかを検査します

⑥ 病理検査…手術や検査で摘出した臓器や組織から標本を作成し、顕微鏡で詳しく観察し病気の診断を行います

生理検査は心電図検査、24時間心電図検査、呼吸機能検査、超音波検査（心臓・腹部・頸部）、脳波検査、聴力検査、睡眠時無呼吸症候群の検査など、項目は多岐にわたります。

各部門において検査の精度と質を維持するため内・外部精度管理調査に参加しています。また信頼される臨床検査データを提供できるように各種認定資格の取得や学会・講習会に参加し、知識・技術の習得にスタッフ一同で努めています。

臨床検査技師長 石川 弘伸

がん化学療法看護認定看護師の紹介

この度、平成27年7月に「がん化学療法看護認定看護師」の資格を取得いたしました。

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤治療を受ける患者さんが病気と向き合い継続して治療を受けられるよう、副作用症状へ対応し、自宅での生活が送れるよう支援する役割があります。

がん化学療法認定看護師として、主に外来化学療法室で患者さんの看護を行っています。抗がん剤を使用した治療の副作用を

できる限り緩和し、安楽に過ごす方法を一緒に考え、長期に渡る治療を安心して受けられるようにサポートしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



胆沢病院5人目の認定看護師誕生です

がん化学療法看護認定看護師 細川 友子